

令和4年度NICU等入院児の在宅移行支援の取組

(1) NICU入院児支援コーディネーター配置促進

NICU入院児支援コーディネーターを配置し、早期から在宅への移行支援を行うことにより、家族の療養環境の整備とNICU等病床の確保を図る。

<NICU等入院児支援コーディネーターもしくは同等の役割を担う職員の配置状況>

【令和4年度】	29 施設 / 33 施設
(内訳)	総合周産期母子医療センター 14 施設 / 14 施設
	地域周産期母子医療センター 15 施設 / 15 施設
	周産期連携病院 0 施設 / 4 施設

(2) NICU入院児支援コーディネーター連絡会

NICU入院児支援コーディネーターや、その業務を担っている看護師、助産師、MSW等を対象として、各施設の取組の情報共有や退院支援に関わる資質向上を図る。

令和4年度は小児等在宅移行研修を2回集合形式で開催した。

開催日	テーマ	参加状況
①第1回 令和4年9月21日 午後2時30分～午後5時	①第1回 講演：昭和大病院におけるNICU・GCUの退院支援 講師：昭和大保健医療学看護学科臨床看護師 小児専門看護師 井出 由美	第1回 32名 23施設
②第2回 令和5年3月30日 午後2時30分～午後5時	②第2回 講演：①医療的ケア児支援センターの役割 ②医ケア児の支援の留意点～退院支援・調整を例に～ 講師：①医ケア児センター 稗田潤氏 ②小児総合医療センター 間宮規子	②第2回 18名 26施設

(6) 小児等在宅移行研修事業

東京都周産期母子医療センター、周産期連携病院及び東京都こども救命センター（以下「周産期センター等」という。）におけるNICU・PICU等入院児の在宅療養への円滑な移行を促進するとともに、在宅移行後の地域における児の安心・安全な療養生活の実現を図るため、周産期センター等、その他の病院、診療所、保健所及び区市町村等における医療・保健・福祉従事者に対して、研修会を実施することにより、NICU・PICU等入院児の円滑な在宅移行を担う人材と、移行後に必要な医療・保健・福祉サービスを担う人材の育成を図る。

区分	目的	開催日	内容	講師等	参加人数
診療所等医師	○小児在宅医療の実際を体験し、小児在宅医療及び小児在宅移行を担う医師の確保及び質の向上を図る。	①訪問診療同行(1日、1か月コース) 令和4年8月～令和4年3月	○小児の訪問診療の同行(呼吸・循環管理、栄養管理、在宅生活支援、家族支援等の見学) ○小児在宅医療における診療報酬等に関する講義	医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所墨田	1日：2人 (病院2) 1か月：1人 (診療所、病院)
		②【セミナー研修初級編】 令和4年7月10日(日) 【セミナー研修中級編】 令和4年8月7日(日)	○小児在宅医療におけるリスク管理 ・医療的ケア児と重症心身障害児(初級) 在宅医療における医療管理概論(初級)等 ・小児在宅医療の呼吸リハの基礎と小児がん(中級)等		初級78人(WEB) 中級60人(WEB)
指定二次救急医療機関等	○在宅におけるケアの実際を知り、退院支援及び退院後のレスパイトケア等の支援に資する。	①訪問看護事業所 令和4年8月～令和5年1月	○訪問看護・訪問リハビリの同行 ○児童発達支援サービス事業所の見学等	公益財団法人日本訪問看護財団立 あすか山訪問看護ステーション (児童発達支援事業所楽患ニーニョ)	16人(11施設)
		②都立小児総合医療センター 令和4年9月29、30日	○重症心身障害児等の療育と支援 講義と病棟実習		都立小児総合医療センター
多職種合同	○小児の在宅移行支援を担うリーダー的職員の育成	令和5年2月18日(土)、19日(日)	○小児在宅医療の現状と多職種連携の意義と理念 他	医療法人財団はるたか会理事長 前田浩利氏 他5名	1日目117人(WEB) 2日目106人(WEB)
保健師	○こども救命センター、周産期母子医療センター等と連携を図りながら、地域における支援を強化する。	平成令和4年10月7日(木)	在宅療養へ移行するNICU等入院児の疾患や障害の理解及び家族支援 講師 都立大塚病院新生児科部長、NICU入院児退院支援コーディネーター		48人(WEB)

(3) 在宅移行支援病床運営事業

NICU・GCUと在宅療養の間に中間病床として在宅移行支援病床を設置し、在宅療養等へ向けた準備(訓練等)を行い、運営することにより、NICU等長期入院児の在宅療養等への円滑な移行の促進を図る。

【令和4年度実績】	15 施設 55 床 (都立含む)
(内訳)	総合周産期母子医療センター 6 施設 (33 床)
	地域周産期母子医療センター 6 施設 (16 床)
	周産期連携病院 1 施設 (2 床)
	指定二次救急医療機関(小児) 2 施設 (4 床)

(4) 在宅療養児一時受入支援事業

NICU等長期入院児の在宅医療中の定期的医学管理及び保護者の労力の一時支援を行う。

【令和4年度実績】	21 施設 53 床
(内訳)	総合周産期母子医療センター 6 施設 (21 床)
	地域周産期母子医療センター 10 施設 (22 床)
	周産期連携病院 2 施設 (2 床)
	指定二次救急医療機関(小児) 3 施設 (8 床)

(5) NICU等入院児在宅移行支援事業

NICU等入院児の外泊訓練等を支援する周産期母子医療センター等及び訪問看護事業所に対し経費を補助することにより、在宅療養への円滑な移行及び退院後の安定した生活の継続を支援する。

【令和4年度実績】	実績4 / 申請17施設
	周産期母子医療センター 実績26 / 申請62施設
	訪問看護ステーション